

平成30年8月2日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター
農業試験場 総合研究部
病虫害防除室
直通：257-6972

平成30年度病虫害発生予報第5号について

今後、発生が予想される、水稻、大豆、果樹、野菜・花きの病虫害の発生時期や発生量、防除上の注意事項などを掲載する。

1 予報期間 8月上旬～8月下旬

2 予報内容

(1) 水 稻

斑点米カメムシ類の発生は**多**と予想される。水田への侵入量が多いため、出穂後の防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。

穂いもちの発生は**並**と予想される。出穂前後に降雨があると発生が拡大するので、この時期の防除は必ず実施する。

紋枯病の発生は**並**と予想される。防除を実施していないほ場では、発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

(2) 大 豆

アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

カメムシ類の発生は**やや多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

(3) 果 樹

ナシ黒星病の発生は**並**と予想される。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。発生源となる下草を刈り取った後、防除する。

(4) 野菜・花き

軟腐病の発生は**多**と予想される。作業中は作物を傷つけないように注意するとともに、害虫防除を徹底する。

アブラムシ類、ハダニ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハスモンヨトウの発生は**やや多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

シロイチモジヨトウの発生は**多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

※病虫害防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。